

タキミシダ シシラン科
Antrophyum obovatum Baker

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 B類 (EN)

選定理由 生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 やや陰湿な溪流沿いの岩場に着生する小形の常緑性シダ植物。青谷町の古井戸内壁産は絶滅，県内絶滅が懸念されていたが，西部地域で再発見された。葉身は厚革質，倒卵状長楕円形，全縁，葉脈は中肋不明瞭，網状，鋭突頭，基部はくさび形で葉柄に流れ，通常長さ10cm以下。孢子嚢群は下面葉脈に沿い平行，線形，苞膜はない。和名は瀑滝の岩場で発見されたことに由来。

分布 本州新潟県以南，四国，九州。

(県内) 西部地域。県内分布図は省略。

保護上の留意点 厳重な採取防止。溪流沿いの岩場と周辺部植生の保護。

